



私たちの暮らしを支えている県庁のお仕事、実は知っている以上にいろいろなところで関わらせてもらっています。そんな県庁に毎月密着し、その知られざるのお仕事を、キラリと輝く職員の方たちをレポートします!!

県産材の生産と利用を広げ林業を活性化 (県産材活用課)

主な業務

PICK UP 01 コミュニティ林業の推進

PICK UP 02 県産材の管理と経営の効率化

PICK UP 03 住宅・公共施設等での県産材利用拡大

木質バイオマスの利用促進

福井県の上林は約12万ヘクタール、(面積は国土の約1%)は、県産木材の生産で利用されている事業所が取り囲んでいて、今、林業事業者や所有者の高齢化などで手入れされていない山の増加が懸念されています。この課題に専ら集落で山を管理する経営モデル「コミュニティ林業」を推進。間伐などを効率化し、利益をより多く生むサイクルを県内各地で確立していき、全国的に注目されている。同時にさまざまなコスト削減や効率化で県産材の生産量を拡大。新規就業者の育成もサポートする。新規就業 また、住宅や公共施設等での県産材利用を進めるほか、建築材料などに使えない曲がった間伐材等を燃料に変換する、バイオマス発電が先を駆動させた。

PICKUP 01

全国で注目の「コミュニティ林業」で山をビジネスに!

路網整備や間伐材の役出しなどで、森の中に人が入り、しっかりと木が育つ環境に(熊山)



山の課題を解決する福井発の経営モデル!

福井が平成22年度より進めている「コミュニティ林業」、6年目を迎えるこの事業が全国から注目されているのは、集落の結びつきにより協力しながら山を管理し、事業計画を立て利益を生み出しているところ。所有する森林の境界や道などの課題について、集落の森林所有者同士が協力し解決しながら、まとめて効率的な間伐を行ない、役出した間伐材を売って利益を得ている。山を管理することで収入を得る間伐材に健全な森林が作られ、次の収入へとつながっていくという、林業の持続サイクルを生み出したことが成功とつながっている。

現在55の集落で運営され、今後は年間20集落ずつの拡大が目標です!

コミュニティ林業の流れ

- 1 対象集落の選定および資源把握
- 2 座談会等での集落説明(福井市南西側)
- 3 木材生産組合の設立の様子(福井市南西側)
- 4 現地調査および木材生産計画の策定(熊山の現地説明の様子)
- 5 路網整備や間伐等の実施(熊山の伐採材搬出の様子)
- 6 間伐材等の出荷
- 7 木材売上等の集算

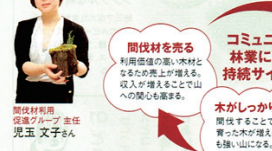


間伐材利用促進グループ 主宰 鈴木 大裕さん

集落で力を合わせることでさまざまな効果が表れている。

平成22年度から始まった「コミュニティ林業」、これまでに55の集落で取り組まれ、木材生産量はトータルで約7万立方メートル増加を上げています。また、木材の生産量や利益の面だけでなく、管理のために山に入ることでインシヤンカによる被害が減少したという効果も見られています。

- #### 利益以外にもこんな声がある
- 道ができ、山の環境が良くなった
 - 所有森林の境界が明確になった
 - インシヤンカ被害が減少した
 - 地元若いが山に関心を持つようになった



県産材生産量が着実にアップ!

「コミュニティ林業」では、事業が始まった平成22年度と比べ、県産材生産量は約34倍に増加し、山の所有者がそれぞれで作業を行なうのではなく、集落で集約化することで生産効率もアップしている。

	平成22年度	平成26年度	合計 (4ヵ年)
木材生産組合設立数	10	15	55
県産材生産量(m)	600	20,371	69,675



PICKUP 02

低コスト化と人材育成で次世代へと続く林業に。

研修生は20〜60代と幅広く、現在1〜3年目合わせて44名が学んでいます!

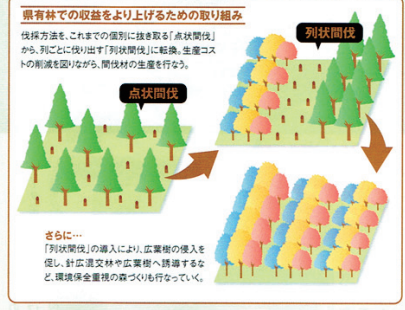


林業推進 人材育成グループ 企画室長 田中 廣晴さん

コストを下げることで収入拡大や、担い手育成で次の世代へ林業をつなぐ。

県産材の経営を効率化する!

県産材の経営を効率化する。県産材の経営を効率化する。県産材の経営を効率化する。



未来を支える森の担い手を育てる!!

林業従事者の高齢化が進む中、新たな担い手となる新規就業者の確保と育成にも取り組んでいる。

- 林業就業支援: 林業への新規就業を希望する人に、職場環境の見学や作業体験、山村での生活相談などを実施。林業への理解と意欲を醸成している。
- 「緑の雇用」現場技能者育成対策事業: 3年計画でフォレストワーカー(林業作業士)を育成。森林組合や民間会社に就職した人が、農事ながら研修を受け、人材を輩い入れる事業体に対しても、新たな技術研修など、人材育成の体制づくりにサポートしている。



1年目の伐採作業の様子。2年目の造林や測量の授業の様子。基礎知識や育林作業など学ぶ。3年目にはさまざまな男性研修林業職で伐採や集材、造材作業を行う。

PICKUP 03

県産材をフルに活用する!

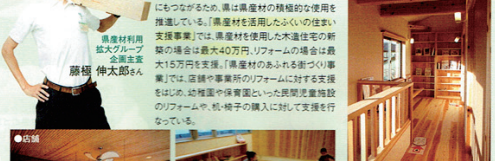
運めしある地元の木を使って快適な空間づくりに活かしてください!

住宅や施設に使う建材から、発電の燃料まで!

実は見えないところにも県産材。



住宅などを建てる際の、地盤補強に使用される木にも県産材が使用されている。



お客さまが快適な空間づくりを応援しています!

間伐材を使うバイオマス発電が稼働へ!

大野市で建設中の木質バイオマス発電所。建築材料などには使えない間伐材を燃料として利用し発電する。来年の平成28年4月の稼働を目指し、林業の新しい事業として期待されている。



- #### 問い合わせ
- 県産材を活用したふくいの住まい支援事業: 新築 福井県木材組合連合会 ☎0776-35-5663 / リフォーム 福井県建築組合連合会 ☎0776-54-2757
 - 県産材のあふれる街づくり事業: 福井県建築士事務所協会 ☎0776-54-1552